

<聖隷三方原病院>救急科

<プログラム類型>

②基本コース

<プログラム概要>

静岡県聖隷三方原病院救急科専門研修プログラムは静岡県浜松市の北部に位置する、総合病院である聖隷三方原病院を基幹研修施設とし、4つの研修連携施設からなる研修施設群を形成しています。基幹研修施設は、高度救命救急センターであり、浜松市内の二次救急輪番病院であり、浜松市北部の救急医療の拠点として救急診療を展開しています。またドクターヘリの運航実施施設でもあり、静岡県西部から愛知県東部をカバーする病院前診療では地域医療機関との連携、消防機関との連携など、病院内では学ぶことのできない実地修練が専攻医のみなさんの救急医としてのスキルを向上させるものとなります。

連携施設である、浜松市内の二次救急輪番病院である聖隷浜松病院は救命救急センターであり、多様な診療科との連携や豊富な手術件数の実績があります。市中病院であるからこそ、症例経験を積むことができます。浜松医科大学医学部附属病院では、浜松市内の二次救急輪番病院としての救急診療だけではなく、医科大学附属病院として、リサーチマインドをより醸成する素養を養ってくれるでしょう。静岡市に位置する静岡県立こども病院は、小児救命救急センターであり、静岡県内の小児医療の最後の砦として、受け入れ医療機関として、病診・病病連携の経験を含め、多様な小児救急診療の経験ができます。佐久間病院は静岡県北西端に位置し、愛知県、長野県の県境に接する地域において、地域医療の拠点としての診療を展開しています。基幹施設との連携も多く、ドクターヘリでの転院搬送などを通して、基幹施設との病病連携など、地域密着型の医療機関における診療を経験することができます。基幹研修施設を始めとした多様な連携施設での研修を組み合わせ、専攻医のみなさんが地域や社会に求められる救急医となれるよう支援しております。また、各施設の指導医や専門医を始め、コメディカルも含めたスタッフは豊富な症例経験の元、専攻医のみなさんが救急医としての研修が充実したものとなるよう、サポート致します。

また西部地域で3施設(聖隷三方原病院、聖隷浜松病院、浜松医科大学医学部附属病院)がそれぞれに独自性を持った基幹プログラムを策定していますが、各施設が各プログラムの連携施設としても参画することで、静岡県西部地域、ひいては静岡県全体から全国を活躍の場とできる救急医療の担い手を育成することを目的としています。相互のプログラムが切磋琢磨し、また協力しあいながら教育が実施できるような体制がとられています。

<取得できる資格>

救急科専門医

<現時点の受入見込数>

1人

<具体的なコース> ← うち、4年間を医師不足地域で勤務 →

初期研修 2年	後期(専門)研修 3年	後期(専門)研修後(県内病院勤務) 4年
県内病院	<p><基幹>聖隷三方原病院 <連携>聖隷浜松病院、浜松医科大学医学部附属病院、浜松市国民健康保険 佐久間病院、静岡県立こども病院</p>	勤務する医療機関については、医師不足地域での勤務が4年間となるよう、県とプログラム設置機関とで協議し、県で指定します
	<p>上記のうち、基幹施設での研修を2年程度、静岡県立こども病院での小児救急研修を3ヶ月必修とし、その他の連携施設での研修は専攻医の希望により調整可能</p>	

<勤務する医療機関> ※医師少数区域は今年度策定する医師確保計画で決定

二次医療圏	後期(専門)研修	後期(専門)研修後
賀茂		上記のとおり
熱海伊東		
駿東田方		
富士		
静岡	静岡県立こども病院	
志太榛原		
中東遠		
西部	聖隷三方原病院、聖隷浜松病院、浜松医科大学医学部附属病院、浜松市国民健康保険 佐久間病院	